

「鉄のふしぎ博物館」開設

衣川製鎖工業



館内を紹介する衣川社長

「来て！見て！触れて！ふしぎ体感」をキャッチフレーズに、暮らしに身近な鉄について少しでも多くの人に知ってもらいたいと、船舶用チェーンメーカーの衣川製鎖工業（本社＝兵庫県姫路市飾磨区阿成渡場、衣川良介社長）は、本社内に天然磁石や砂鉄、珍しい石などを展示し、実際に触って学習できる「鉄のふしぎ博物館」を開設している。

従来は、ミニ博物館として夏休みに事務所の一角を利用して行っていた

天然磁石、砂鉄など体感展示

が、2009年夏からは、社内の会議室（約50平方メートル）を利用した展示室を新たに設け、約200点の資料を展示。これまでに地元小学生をはじめ、多くの来場者が鉄の魅力に触れている。

ルに活用して、鉄をもっと身近に感じてほしい」（衣川社長）と、いずれも直に手で触れることができる。

展示内容は、国内外の砂鉄や天然磁石、ネオジウム磁石、各種鉄鉱石、製鉄原料など、衣川社長が自ら収集したものや製鋼メーカーなどから寄贈されたものなどさまざまである。中には、アフリカのナミビアで見つかったギボン隕鉄（いんてつ）や、化石のストロマトライトなどの珍しいものも展示されているが、「五感をフルに活用して、鉄をもっと身近に感じてほしい」（衣川社長）と、いずれも直に手で触れることができる。

衣川社長は同社の2代目で、大学卒業後に家業の製鎖業を継ぎ、40年が経過した。「鉄は身近にあり、十分分かっているようにうだが、実は未知の部分も多い不思議な金属。皆さんにその一端を見ていただき、鉄の不思議を体感してほしい」としている。

開館は午前9時～午後6時（土、日、祭日も可）。見学は要予約で、最大15人（☎079-234-1515）。